


## 再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b>	一般国道260号 <small>にしきとうげ</small> 錦 峠	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 中部地方整備局
<b>起終点</b>	自：三重県度会郡南伊勢町棚橋 至：三重県度会郡大紀町高岡	<b>延長</b>	6.7 km		
<b>事業概要</b>					
一般国道260号は、志摩市から北牟婁郡紀北町に至る延長約118kmの幹線道路である。錦峠は、南伊勢町と大紀町間に標高200mの棚橋峠と錦峠があり、交通の隘路で異常気象時には通行規制が実施されるため、安全性と信頼性を確保した地域振興に貢献する延長6.7kmの2車線道路である。					
S59年度事業化		H一年都市計画決定		S61年度用地着手	
S63年度工事着手					
<b>全体事業費</b>	約230億円	<b>事業進捗率</b>	84%	<b>供用済延長</b>	4.9km
<b>計画交通量</b>	1,800台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.4  (残事業) 9.7	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 37/308億円 (事業費：31/285億円 維持管理費：6.1/23億円)	<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 364/423億円 (走行時間短縮便益：352/388億円 走行費用減少便益：12/33億円 交通事故減少便益：0.08/2.6億円)	<b>基準年</b> 平成20年	
<b>感度分析の結果</b> (※2) 残事業について感度分析を実施					
交通量変動 : B/C=10.7 (交通量+10%) B/C= 8.8 (交通量-10%)					
事業費変動 : B/C= 9.0 (事業費+10%) B/C=10.6 (事業費-10%)					
<b>事業の効果等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土・地域ネットワークの構築（日常生活中心都市間を最短時間で連絡する）</li> <li>・災害への備え（災害時の孤立化地域の解消、第3次緊急輸送路）</li> <li>・物流効率化の支援（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消） <span style="float: right;">他5項目に該当</span></li> </ul>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b>					
一般国道260号錦峠は、地域振興に貢献することが期待されており、紀勢町をはじめとする関係1市3町からなる国道260号道路改良促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化と人口減少、市町村合併等による生活圏の広域化</li> <li>・自然災害による孤立化の発生</li> <li>・県内随一の漁業地域（獲る漁業からつくり育てる漁業へ、また漁業を生かした経営を実施）</li> </ul>					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b>					
現在までに4.9kmを部分供用し、1工区（1.8km）で工事を進めている。					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b>					
平成20年代中頃に事業完了予定。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b>					
新技術を積極的に活用し、橋梁形式の見直しや橋梁設計における合理化、路肩の幅員見直し等を実施しコスト縮減を図っている。					
<b>対応方針</b>	事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b>	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
<b>事業概要図</b>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。